

ISO50001 Energy Management System

IAE ケーススタディ 三幸株式会社様



ビル総合管理業におけるエネルギーマネジメントシステム ISO50001の活用により、ソリューション提案を顧客に訴求。

Needs

同社においては、お客様の資産である建物を預かり、快適かつ効率的なエネルギー管理を実現するための豊富なノウハウを実証し、顧客に示すために、ISO 50001の認証取得を決断されました。本社の移転やその他のマネジメントシステムの導入・見直し等も同時に進められていたため、形式にとらわれることなく、柔軟で、実効性のあるエネルギーマネジメントシステムを早期に構築することが求められていました。

Benefits

マネジメントシステムは、その企業の業態や文化によって様々な形で実現されます。同社においては、既にISO 14001に基づく環境マネジメントシステム及びその運用によるエネルギー管理並びに省エネの実績がありました。コンサルタントの起用により、既存のマネジメントシステム及びその実績を最大限に活用し、認証取得を決定してからわずか4ヵ月という短期間での認証取得を実現しました。

Voice

三幸株式会社代表取締役社長 橋本有史様 談話

三幸(株)は清掃・設備管理・警備等のビル総合管理サービスや公官庁のスポーツ施設等の運営を含めた施設総合管理サービスを提供しております。

ISOに付きましては、既に14001を取得し、運用していますが、この度50001(エネルギーマネジメントシステム)が発行されたのを受け、エネルギー管理も行っている我社としましては、これも早期に認証取得し、お客様の設備に少しでもお役に立てたいと考えました。

幸い、ISO 50001の研修・コンサルを実施しているIAE様の研修受講とコンサルティングを受けることができ、シニアコンサルタントの懇切丁寧なご指導を受け、より短期間での認証取得が可能となりました。

ISO 50001の認証登録を機に、これまでの経験と実績に加えて新しい技術も取り入れながら、お客様のエネルギーパフォーマンス改善に努めていく所存でございます。



ISOセンター EnMS導入・運用支援コンサルティングの特徴

Step 1 初期調査

組織のエネルギーマネジメントシステムにおいてISO 50001の要求事項は、様々な形で実現することが可能です。組織の現状を見ることなく、ISOの要求事項に合わせたマネジメントシステムを構築した場合、組織の実態からかけ離れたマネジメントシステムとなってしまう、いわゆる“ISOのための活動”や、“認証のための書類”が増えてしまうことになりがちです。ISOセンターのISO 50001 エネルギーマネジメントシステム(EnMS)導入・運用支援コンサルティングでは、組織の**既存のマネジメント体制や文化、ノウハウを重要視し**、初期調査によって十分に組織の現状を把握した上で、それぞれのお客様に合った最適な導入・運用支援コンサルティングを提供しています。

Step 2 構築支援

初期調査の結果に基づき、それぞれの組織にとって最適の形でEnMSの構築を支援致します。このステップの成果物は、**エネルギーレビュー**及びその結果に基づく**エネルギー計画**並びに**EnMS文書及び記録様式一式**になります。ISOセンターのコンサルティングでは、EnMSの構築にあたっては出来るだけ既存の文書及び記録を活用することを推奨しています。組織の持つ文書や記録は、組織の文化を反映した重要な資産と考えるからです。初期調査において、現状の組織のマネジメントシステムに追加／改善・強化が必要と認められた部分を中心にEnMSの構築作業を進めていきます。マネジメントシステムの文書化があまり進んでいない組織の場合には、ISO 50001の要求事項を満たすEnMSの構築・

運用に必要な標準的な文書及び記録様式一式をご提供させて頂くことも可能です。

さらに、EnMS構築支援コンサルティングでは、

- **エネルギーマネジメントシステム導入・構築研修**
- **エネルギーレビュー実践研修**

等のISO 50001に関する基本的な知識の習得、エネルギー計画の立案の基礎となるエネルギーレビューの方法を理解するための研修等を組み合わせ、EnMSの構築・運用に係わる要員の知識及び認識の向上を図っていきます。

Step 3 運用支援

マネジメントシステムの運用に慣れた組織であれば、適切なエネルギー計画が作成され、既存のマネジメントシステムと十分に整合したEnMS文書が作成されているならば、計画に沿って期待された成果を上げることは十分に可能です。しかしながら、そのような組織においても、マネジメントシステムの運用段階における外部コンサルタントの支援は、**エネルギー計画及び新しい仕組みの定着及び改善のための大きな推進力**となるため、多くのお客様に運用支援コンサルティングを推奨させていただいております。特にマネジメントシステムの運用の経験の浅い組織にとっては、運用段階における適切な支援がマネジメントシステムの定着及びエネルギーパフォーマンスの改善に大きく貢献します。EnMSの運用には、日々の計測、改善活動、内部監査、マネジメントレビュー等が含まれますが、特にEnMS内部監査の実施前には、EnMSの監査に必要な知識及び技能を持った監査員の育成が必須となります。ISOセンターでは、このようなニーズに応えるため、**EnMS内部監査員研修**を提供致しております。

Step 4 認証取得支援

ISO 50001の認証取得を希望されるお客様に対しては、認証取得のための支援サービスをご提供しています。他のマネジメントシステムの認証取得状況やEnMS認証取得の目的を勘案して、最適な認証機関の選定を支援することが可能です。

また、マネジメントシステムの認証審査に不慣れた組織に対しては、本番の審査に近い形で模擬審査を実施することにより、関連部門の審査対応能力の向上を図ることも可能です。

Step 5 継続的改善支援

マネジメントシステムが成果を上げるためには、組織の内外の状況に適切に対応し、継続的な改善を行うことが必要ですが、特に認証取得した組織においては、審査で無用な指摘を避けたいという意識も手伝い、マネジメントシステムが硬直化し、柔軟な改善が行われにくい傾向にあります。マネジメントシステムの所期の成果を上げるためにも、審査を意識し過ぎない、組織の状況に基づく継続的改善が必要となります。EnMS構築後、認証取得後も継続してコンサルタントを起用することは、このような**柔軟な改善を通して、組織にEnMSを定着し、システム及びパフォーマンスの継続的改善を実現する**大きな推進力となります。

組織のEnMSの継続的改善の代表的な課題には、次のようなものがあります。

- **EnMSの成熟度の向上**
- **エネルギーパフォーマンス(省エネ、エネルギーの効率的使用)の向上**
- **他のマネジメントシステムとの統合の促進**

財団法人エネルギー総合工学研究所について

私共、財団法人エネルギー総合工学研究所(英文名 The Institute of Applied Energy 略称「IAE」)は、産・学・官の連携の下、原子力、新エネルギー、化石エネルギー、地球環境など、専門的な知見を集め、エネルギー分野の諸課題について技術的な視点から総合的に取組んでいる調査研究機関です。私共は、エネルギー全般にわたる広範な知見と経験を生かしISO 50001の国際標準化に向け、国内唯一の審議団体として規格開発に取組んでまいりました。

ISOに関するお問い合わせ先

財団法人 エネルギー総合工学研究所
ISOセンター 普及促進企画グループ

東京都港区西新橋1-14-2 新橋SYビル6階

Tel : 03-3508-8891

http://www.iae.or.jp/iso-center/

E-mail : iso-center@iae.or.jp



財団法人エネルギー総合工学研究所
ISOセンター